

中村 不折(なかむら ふせつ)

資 料

短冊『かれ蘆の 果や小さき つくば山 不せつ』

作 者

1866(慶応2). 7. 10-1943(昭和18). 6. 6

江戸(東京都)京橋生まれ。

小山正太郎や浅井忠に洋画を学び、フランスへ留学する。帰国後、太平洋画会で活動し、太平洋美術学校長となる。夏目漱石『吾輩は猫である』の挿絵を描く。また、書家としても有名で、自宅に書道博物館を作る。

参考文献

『書家中村不折』(矢島峰月／著 高遠町(高遠ふるさと叢書 4 歴史に学ぶ) 1999. 12

[県立 728. 21/45(21309307)]

『中村不折 近代洋画界の奇才』(森下正夫／編著 高遠町(高遠ふるさと叢書 2) 1996. 12

[県立 723. 1/654(21309299)]

『余は、交際を好む者なり 正岡子規と十人の俳士』(復本 一郎／著 岩波書店 2009. 3

[県立 911. 36UU/912(22298772)]

